

「つながる暮らし」を
大切にする「プレディア」。
想いをカタチに



開発者が語る。

「プレディア 平野 ザ・レジデンス」に込めた思い

PREDEAR

プレディア平野 ザ・レジデンス

事業主(売主)



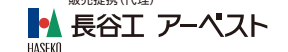
JR西日本プロパティーズ株式会社
神戸市中央区中町通2-1-18
国土交通大臣(2) 第9056号
(一社)不動産協会会員 (一社)不動産流通経営協会会員
(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

事業主(売主)



TC神鋼不動産株式会社
神戸市中央区臨海通2丁目2番4号
国土交通大臣(4) 第7088号
(一社)不動産協会会員 (一社)不動産流通経営協会会員
(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

販売提携(代理)



株式会社長谷工アーベスト
大阪市中央区浜路1丁目7番3号 日土地理ビル6階
国土交通大臣(11) 第3175号
(一社)不動産協会会員
(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟

その暮らしにつながりつづける。親愛なる人生へ。

「つながり」と「仕立ての良さ」JR西日本プロパティーズとTC神鋼不動産の2社がお届けする「プレディア平野 ザ・レジデンス」



樹木や花木が植えられた約650㎡もの公開空地（完成予想図）



JR西日本プロパティーズ 小島氏(左)とTC神鋼不動産 原田氏(右)

大阪市平野区に総145邸で誕生する「プレディア平野 ザ・レジデンス」。手がけたのは、住まい・まちづくりに確固たる理念を持ち、実績を重ねてきたJR西日本プロパティーズとTC神鋼不動産。それぞれの開発担当者に本物件への想いを語っていただきました。

「『プレディア』はJR西日本プロパティーズが展開する住宅ブランドです。わたしたちは「暮らしにつながり続けるまちづくり」の想いをかたちにすることを目指しています。「街」、「時」、「家族」とつながる暮らしを大切に、それぞれの立地・環境特性に想いを巡らせ「お客様目線の住まいづくり」をしています。本物件は特に「街」とのつながりを重要視しています」と小島氏。

TC神鋼不動産の開発推進部の原田氏は「わたしたちは、すべてのプロセスの細やかな部分のひとつひとつに「仕立ての良さ」をお届けしています。本物件においては、歴史深い成熟した住宅地にふさわしい住まいをと考えました」

もっと幸せに、素敵な暮らしとなるマンションに。敷地内に緑豊かな公開空地

2社が本物件のコンセプトとして掲げたのが「&more life」。込めた想いとは？



「&」は「つながり」を表しています。本件の立地は、歴史ある落ち着いた住宅地であり、生活利便施設が揃っていて暮らしも便利、大阪市内中心部へもスムーズにアクセスでき、バランスが良い地です。広大な公開空地を備えた総145邸の本件に暮らすことで、街(地域)と、人と、大阪市内中心部へと、将来へとつながる。「つながる」ことで、望んでいる以上の幸せな暮らしができ、もっと(more)素敵なことがありますようにとの想いです。



外観完成予想図

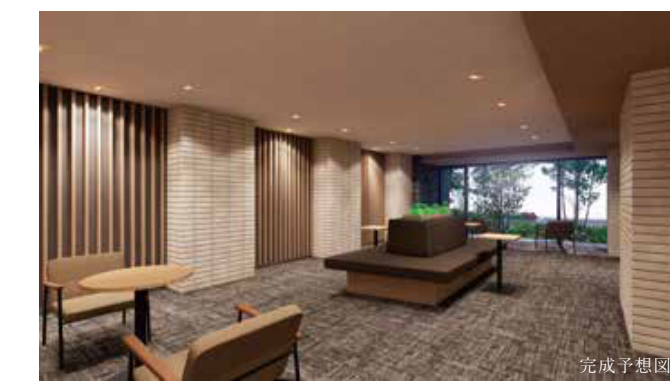


モデルルーム

歴史、街、人、未来への「つながり」を意識した共用空間・サービス



ランドプランイラスト



幅広い年代の方が多用途に使える、歴史とのつながりを表現したラウンジ

街の歴史とつながるラウンジは、人と、未来につながる空間に

総145家族の暮らしを包む共用空間への想いは？

歴史深い街であることを背景に、エントランス・ラウンジは「和」を意識した木の格子や、土壁の質感のタイルを用いて落ち着いたテイストとして、歴史とのつながりを表現しました。ラウンジには空調・Wi-Fiを完備、電子書籍読み放題サービスも導入しています。

ラウンジは、テレワーク・勉強・読書・くつろぎのスペースとして、年齢に関係なく、現在も10年後も、永く利用していただきたいと考えています。利用する期間や年代が限られ使用用途が特定された共用施設を設けなことで、管理費の負担を抑えることができました。



共用部エントランスに顔認証ソリューション採用

マンションの共用部エントランスで、鍵を取り出さずに「顔」をかざすだけで解錠することができます(参考写真)



「J」COMNET光1Gbpsコースを標準導入

ライフスタイルに合わせて最大10Gbpsまでグレードアップ(個別契約〈有償〉)が可能(写真:インターネット環境イメージ)

設計全般では「つながり」をどのように表現されていますか？

現地周辺は平安時代に街ができたと言われ、江戸期には自治都市として綿業を中心に栄えた古くからの落ち着いた町です。成熟した街並みに溶け込むように、外観は華美でなくシンプルでシャープに。低層・中層の住宅が並ぶ街の中では、15階建て総145邸はランドマーク的な存在になると思います。

総合設計制度により約650㎡もの公開空地を設け、広大な緑の空間を創出できました。この緑地には樹木や花木だけでなく、ベンチを数多く用意。地域の方がひと休みしたり、マンションにお住まいの方と交流したり、地域の憩いの場になることを願っています。ベンチの一部はかまどスツールにもなり、災害時には地域の方々と助け合える防災拠点にもなります。このように、地域とのつながりも大切に考えています。



歴史深い落ち着いた街並みに溶け込むシンプルでシャープなデザイン

未来へのつながりを意識したセキュリティ・サービス・共用設備

セキュリティや環境は、未来へのつながりを意識しています。共用部メインエントランスには、顔が鍵となり扉を開けることができる「顔認証ソリューション」を採用。防犯カメラは22台も設置しています。インターネット環境は、通信速度1Gbpsのサービス(Wi-Fi内蔵機器)を全戸に標準装備(別途使用料なし)。ライフスタイルに合わせて速度コースのグレードアップも可能です(※3)。

若いファミリー層のニーズ、自転車を利用される方が多い平坦な街の特性を考えて、駐車場にはハイルーフが駐車できる区画も準備、自転車置場には3人乗りの自転車専用ラック・平面自転車置場もご用意しています。



駐車場はハイルーフ車にも対応

若いファミリー層に人気のミドルーフ車やハイルーフ車対応の駐車区画も準備されています(写真:駐車可能な車の一例)



敷地内に防災倉庫を設置、各住戸に防災バッグを配布

災害時に生活品質を支える防災3点セットや非常備品を備えた防災倉庫を敷地内に設置。各住戸には防災バッグを配布(写真:防災バッグ)